11　情報

学校番号	１００８

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報（後期）	単位数	１単位	年次	２年後期
使用教科書	「最新社会と情報」　（実教出版）						
副教材等							

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、課題の作成や発表等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

２ 学習の到達目標

・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報の収集・処理・表現するとともに、効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品の評価 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 課題作品の評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 課題作品の評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
後期(中間考査まで)	情報機器とディジタル表現	○タイピング練習 ○インターネットの仕組みについて ○WEB ページの作成方法について	○ ○ ○	 ○ 	○ ○	 ○ ○	a:タイピングや WEB ページに興味をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:インターネットの仕組みや問題点についてついて考えることができる。 c:WEB ページの仕組みを理解し、簡単な WEB ページを作成ことできる。 d:インターネットや WEB ページの仕組みや問題点を理解している。	授業観察 タイピング ワークシート 課題の評価
後期(期末考査まで)	コミュニケーションとネットワーク 情報社会と問題解決	○対象者を意識した WEB ページの考察 ○対象者を意識した WEB ページの作成	○ ○	○ 	 ○	 ○	a:対象者に伝わる方法を考え的確に表現しようとしている。 b:グループで対象者に伝わる表現方法を考え意見をまとめている。 c:伝えたい内容を、わかりやすいレイアウトや配色の WEB ページで表現することが出来る。 d:対象者が理解しやすい WEB ページの作成方法を理解している。	授業観察 ワークシート 課題の相互評価
		○テーマ別発表	○	○	○	○	a:自ら設定したテーマについて積極的に調べ、伝える方法を考えている。 b:調べた情報を整理し、自分の考えを含めて表現することができる。 c:伝えたい情報をスライドなどを用いて的確に表現できる。 d:情報を的確に伝えるための、情報機器の活用方法を理解している。	授業観察 ワークシート 発表の相互評価

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。